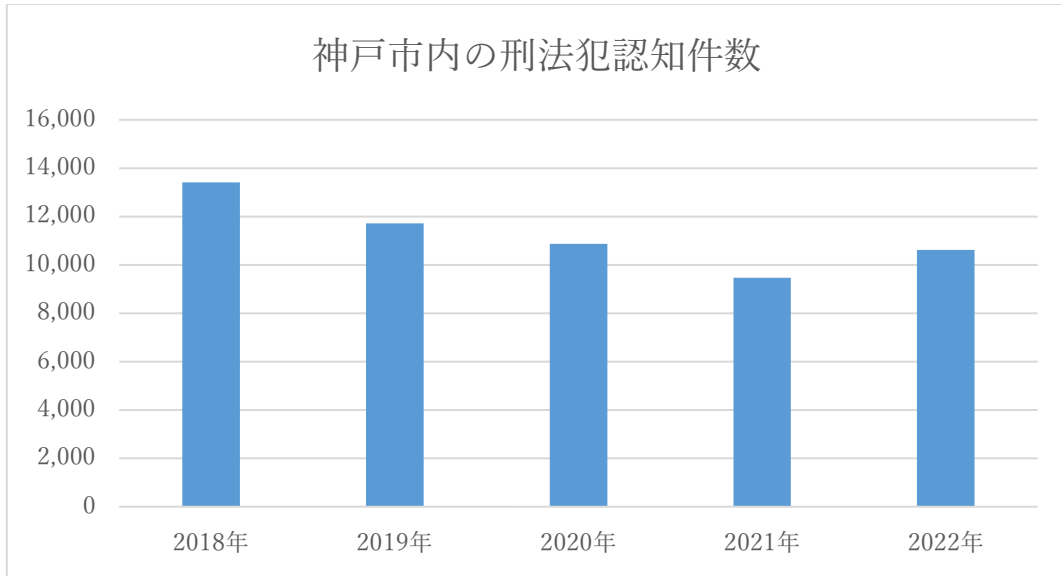


神戸市防犯カメラ直営設置事業に関する効果検証について

1 刑法犯認知件数の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
認知件数	13,407	11,713	10,868	9,464	10,622
前年対比	-11.6%	-12.6%	-7.2%	-12.9%	+12.2%



- ・神戸市内の刑法犯認知件数は、神戸市カメラの設置を開始した後の2020年から2021年にかけて、前年対比-12.9%と大きく減少している。
- ・2022年は増加に転じているが、この要因としては、新型コロナウイルスによる自粛生活の緩和に伴う人流増加の影響が考えられるため、コロナ禍前の2019年の数値と比較すると、2022年についても一定減少している。

2 神戸市カメラを活用した検挙事例

【神戸市カメラを活用した検挙の一例】

- ・2021年5月4日発生 中央区における非現住建造物等放火未遂等事件
- ・2022年10月22日発生 兵庫区における窃盗事件
- ・2022年11月15日発生 長田区における現住建造物等放火事件

3 兵庫県警との検証会議の要旨

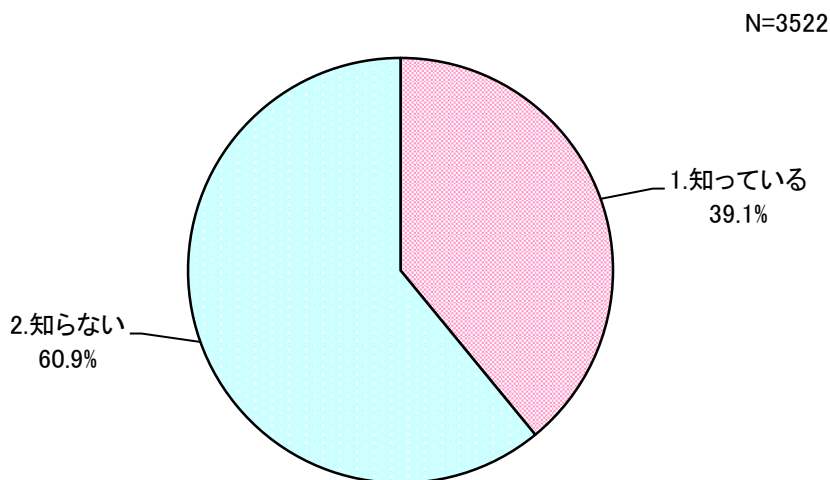
神戸市カメラの設置効果等に関して兵庫県警と検証会議を行い、以下のとおりご意見をいただいた。

- ・防犯カメラの活用による検挙件数は年々増加傾向であり、以前は「職務質問」による検挙が最も多かったが、2020年以降は「防犯カメラなどの画像の確認」による検挙がトップとなっている。
- ・重要事件の被疑者の特定はもとより、子供や女性に不安を与える声かけ・つきまとい等の行為者の特定や、子供や高齢者等の行方不明者の発見など人の命に関わる様々な事案の早期解決に多大な効果がある。
- ・これらの事件等を早期に検挙・解決することは、同種事案の続発防止のため非常に重要であり、また防犯カメラには、犯罪企図者を未然に思い止まらせる高い防犯効果が期待でき、生命・身体・財産を保護するため、防犯カメラの果たす役割は非常に大きい。
- ・防犯カメラの設置は犯罪抑止等に効果があるが、防犯カメラ設置について周知することで、さらに効果が高まるとも考えられる。

4 体感治安に関する意識調査（市民アンケート）

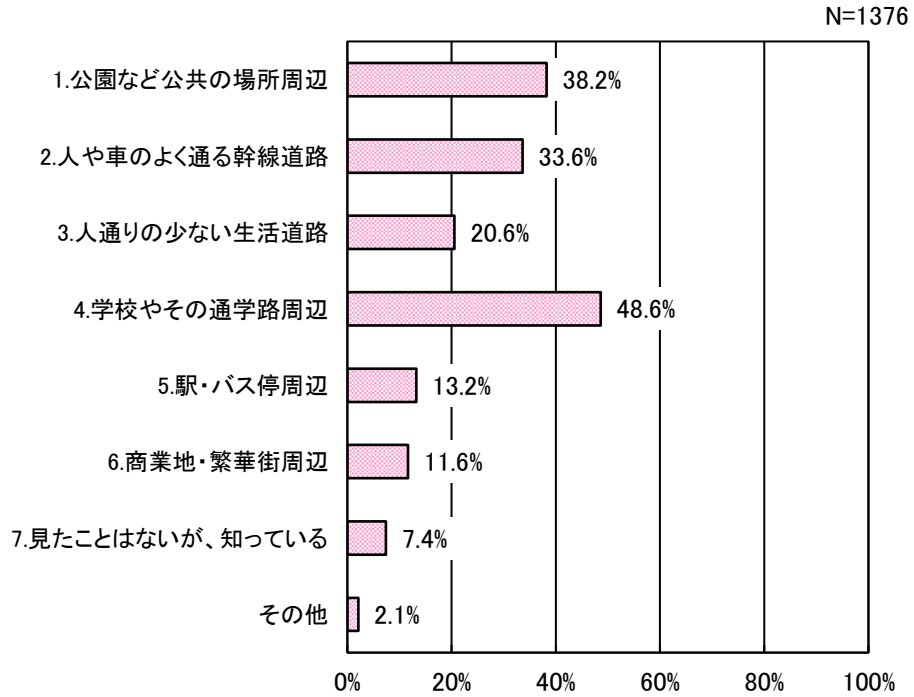
テーマ	『神戸市カメラ 見る＆守る』（神戸市設置の防犯カメラ）について
調査期間	2023年1月12日（木曜）～1月25日（水曜）
設問数	全7問（分岐設問除く）
対象モニター数	6,013名
回答モニター数	3,522名（58.6%）

問1 『神戸市カメラ 見る＆守る』が設置されていることをご存じでしたか。

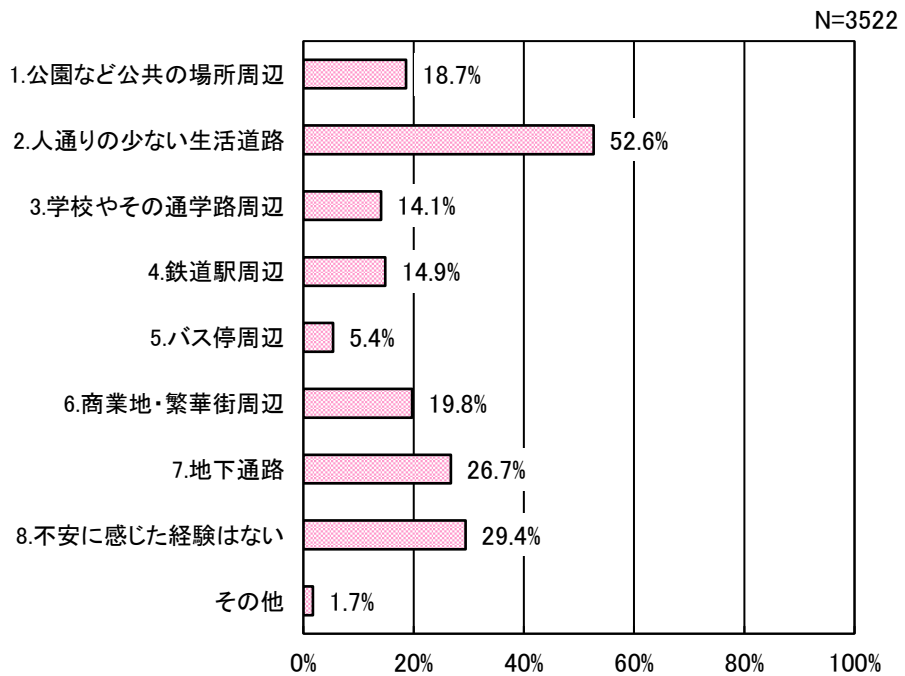


<設置されていたことをご存じの方>

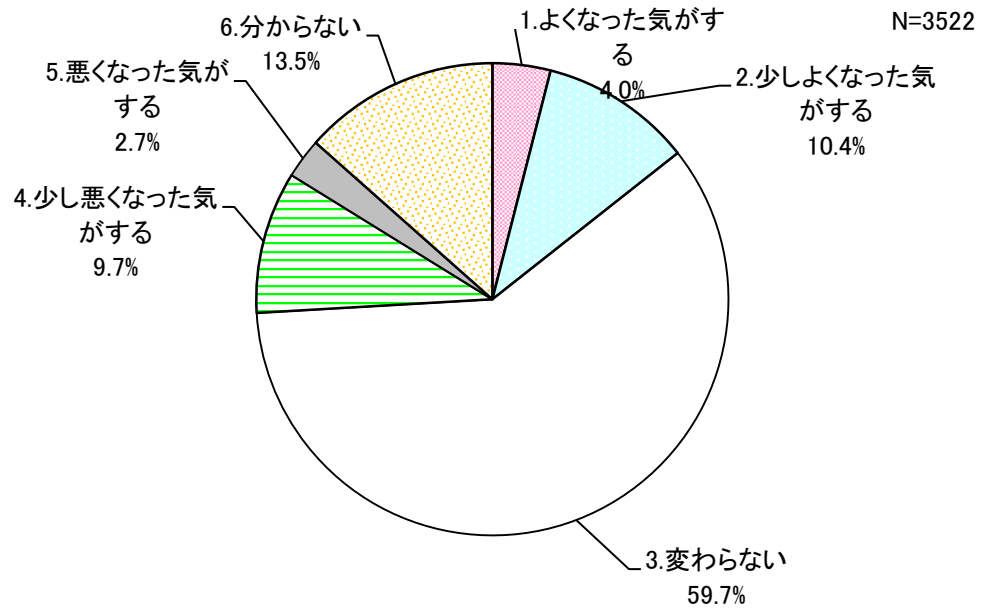
問2 『神戸市カメラ 見る&守る』が設置されているのをどこでご覧になりましたか。



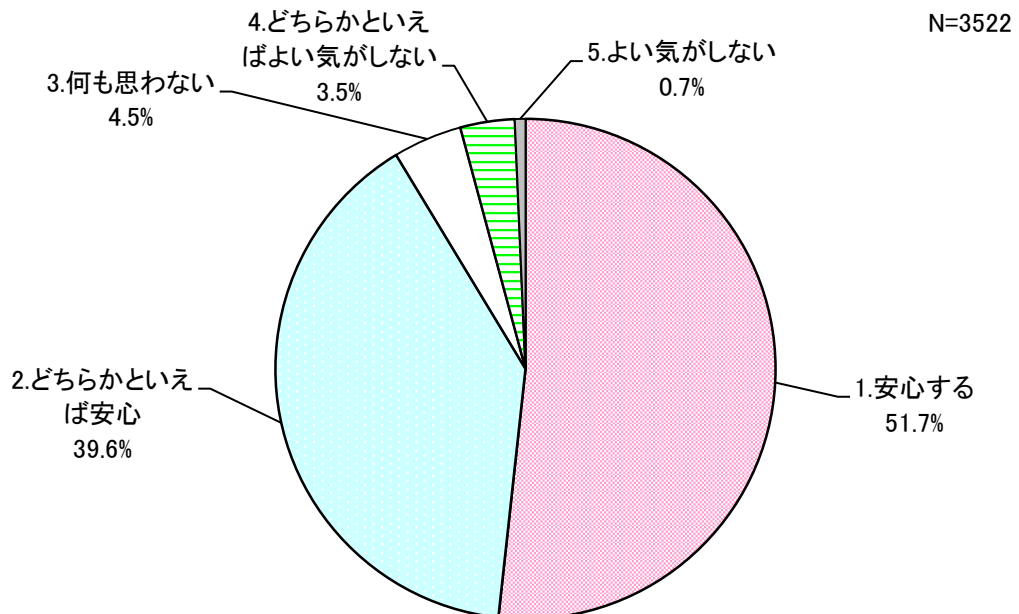
問3 あなたはこれまで、どのような場所で「声かけ」や「つきまとい」等の不安を感じたことがありますか。(該当するものすべて)



問4 現在お住まいの地域の治安について、2019年（令和元年）以前と比べてどのように感じますか。

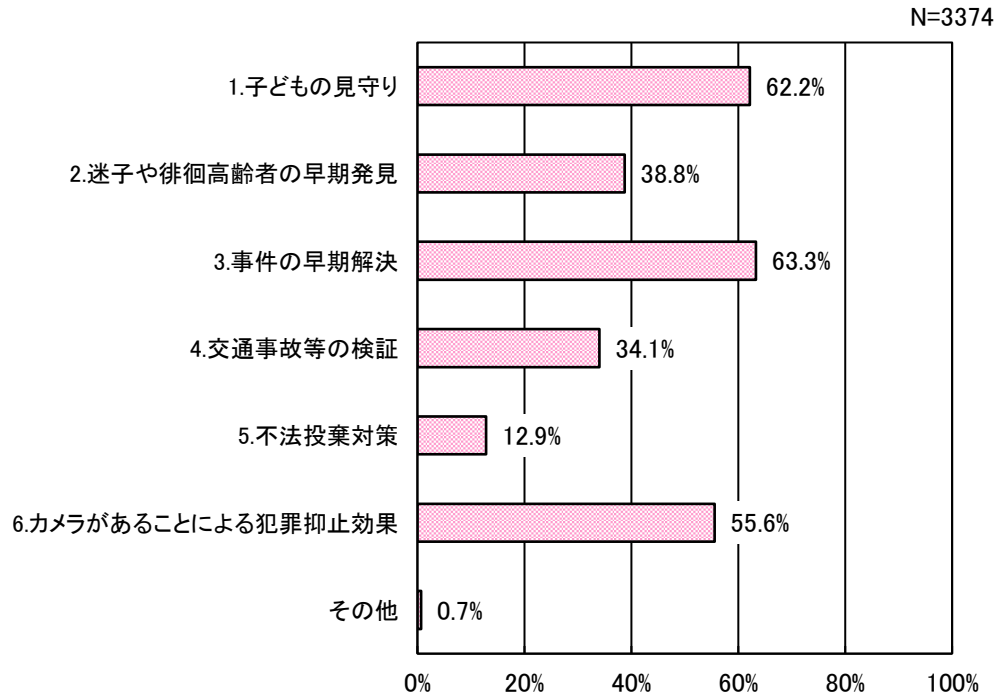


問5 街の中に防犯カメラがあることについて、どのように思われますか。



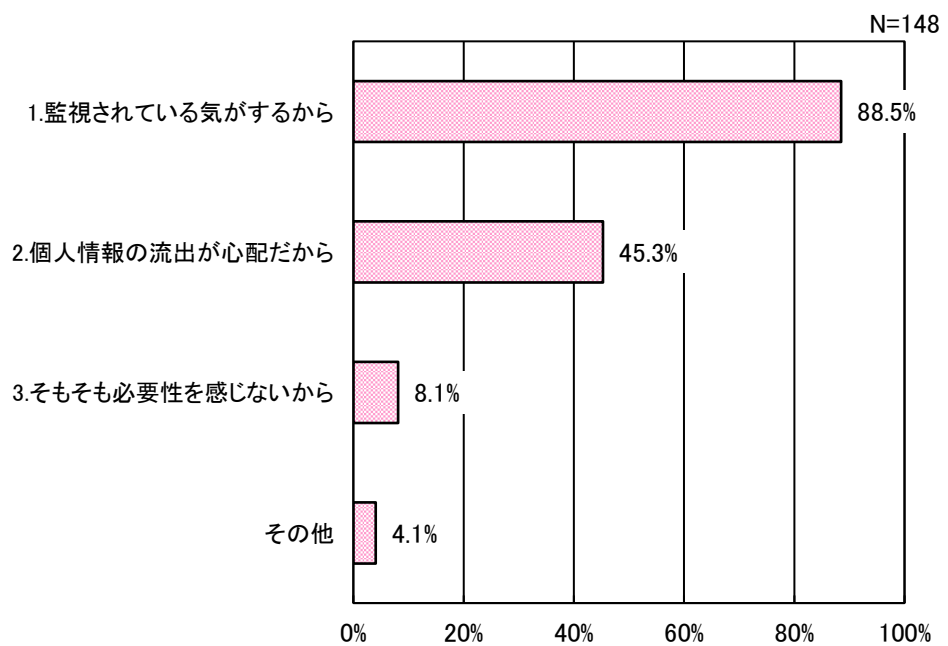
<問5で①安心する ②どちらかといえば安心 ③何も思わない を選択された方>

問6-1 防犯カメラの設置によりさまざまな効果が見込まれますが、あなたが特に期待したい（力を入れて欲しい）と思う効果は何ですか。（特に期待するものを3つまで）



<問5で④どちらかといえばよい気がしない ⑤よい気がしない を選択された方>

問6-2 その理由を教えてください。（該当するものすべて）



問7 『神戸市カメラ 見る&守る』について、ご意見やご要望、さらに防犯効果が見込まれるような意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

【肯定的意見】

- ・ 防犯や安心安全な生活に役立てるよう期待します
- ・ 防犯や事件事故の早期解決に役立てばよいと思います
- ・ 学校周辺の設置は良いと思う
- ・ 目立つし防犯に役立つならどんどん増やしてほしい。実際にどう役立ったのかも知りたい
- ・ 防犯カメラはどんどん増えてほしい。未然に犯罪を抑止できるように子どもの通学路は必ず設置してほしい
- ・ 最近防犯カメラのおかげで、事件の早期解決につながっているケースが増えたように思います。これからも増えてほしいです

【否定的意見】

- ・ カメラの設置にメリットを感じるが、少なからず監視されている事に、いい気はしない
- ・ 監視カメラによって私生活を覗かれているように感じる

【調査結果概要】

2020年・2021年度に設置した『神戸市カメラ 見る&守る』の効果検証のためのアンケート調査を実施し、カメラの認知度や体感治安などについて、意見を伺った。

- ・ 「カメラが設置されていることをご存じでしたか」とお伺いしたところ、「知らない」と回答した方が約60%あり、問7の自由意見においても「設置していることをもっとアピールした方がいい」という意見を多くいただいた。
- ・ 一方、「知っている」と回答された方に「どこでご覧になりましたか」とお伺いしたところ、通学路を含む道路や公園などの公共の場所といった、神戸市が見守りのために設置した場所で目にいただいているということがわかった。
- ・ 「声かけ」や「つきまとい」の経験について、70%近い方が何らかの経験をしたことがあり、女性の結果だけで見ると、約80%の方が何らかの経験があるという結果であった。
- ・ 2020年度以降の神戸市カメラ運用後の体感治安の変化についての問いに対し、「よくなった気がする」「少しよくなった気がする」と答えた方が約15%に対し、「変わらない」「分からない」が70%超、「悪くなった気がする」「少し悪くなった気がする」と回答された方も約12%いらっしゃるなど、神戸市カメラの認知度の結果と合わせ、まだ市民の体感治安の向上には結びついていないことがわかった。
- ・ 一方で、「街中にカメラがあることについてどう思うか」について、「安心」「どちらかといえば安心」と答えた方が90%を超えるなど、肯定的な意見が大半でした。期待する効果では、「子どもの見守り」や「事件の早期解決」「犯罪抑止効果」などが上位にあがりました。問7の自由意見でも「増やしてほしい」という意見が多数あり、神戸市カメラの増設による治安向上に期待する方が多くいらっしゃることもわかった。
- ・ しかしながら、防犯カメラが街中にあることに関して、「よい気がしない」「どちらかといえばよい気がしない」という意見も少ないながらあり、その理由としては「監視され

ている気がする」「個人情報の流出が心配」などの意見が大半を占めることから、神戸市カメラの設置や運用に関しては、丁寧な説明と広報が必要であると考えます。

- ・ アンケートでは、防犯カメラ設置による防犯効果や事件解決に多くの方が期待されている一方、個人情報に対する危惧からくるカメラの運用方法、認知度に表れる周知不足など、課題があることがわかった。

5 まとめ

- ・ 神戸市内の刑法犯認知件数については、神戸市カメラの設置を開始した2020年から2021年にかけて大きく減少しており、2022年には増加に転じているものの、コロナ禍前の2019年と比較すると減少していることから、防犯対策として一定の効果があったものと考えられる。
- ・ 犯罪等の検挙に関しては、防犯カメラ等の画像の確認を端緒（きっかけ）とした件数は増加傾向で、神戸市カメラを活用した効果的な検挙事例もあり、兵庫県警からは「防犯カメラの設置は犯罪の抑止・検挙の両面において非常に有効である」とのご意見を頂いている。
- ・ 市民アンケートの結果では、多くの市民が「防犯カメラがあることにより安心」と回答しており、防犯カメラの設置が市民の体感治安の向上に大きく影響を与えていることが分かる。一方、神戸市カメラが設置されていることの認知度が低く、全体として体感治安向上に直結していない面が認められることから、犯罪抑止効果や市民の安心感向上のため、効果的な周知方法についても考えていく必要がある。
- ・ これらの結果を踏まえ、条例の目的である「安全で安心なまちづくり」を実現するため、県警とも連携を図りながら、2023年度に更なる神戸市カメラの設置を推進する。